



豊後大野市立緒方中学校学校だより

青雲の大志

令和6年1月29日

NO.28 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

緊張感のある避難訓練

1月25日に、豊後大野警察署及び緒方北駐在所のご協力で、1年教室に不審者が侵入したという想定での避難訓練を実施しました。以下は生徒の感想です。



不審者と格闘している佐土原先生と西森先生。

■僕は、最初来たときは、教室への入り方が自然すぎて、不審者とは思っていませんでした。小学校の頃よりガチで怖かったです。教室に入ってきたときは、少し戸惑って、窓から出るのを忘れてしまいました。でも、誰かが開けてくれたので、そこから走って逃げました。逃げるときはスリッパのまんまで全力で走りました。最後に点呼をするときも私語なしでできました。実際に不審者が来たときは、窓から逃げることに、場合によっては、椅子などを投げて抵抗したいです。最後に警察の方が話してくれた中で、消火器もよいと知ったので、いざという時のために使えるようにしておきたいです。(1年 土屋遼河さん)

■今日は授業中、教室に不審者が入ってきて、不快になるような言葉を言っていて、とても怖かったです。2、3年生は別の階にいて、不審者がいることを知らなかったのが、知っている私たちが大声を出して知らせたり、素早く逃げたりすることが大事だと思いました。先生は、生徒たちを守るために不審者と戦っているのだから、怖いと思っても、自分の命は自分で守ることを意識して、守ってくれている先生たちを犠牲にしないようにこれからは気を付けたいです。(1年 河野愛佳さん)



刃物を持った不審者が外に出てきて、3年女子は急遽、避難ルートを変えました。

■今回の避難訓練は、知らされてはいたけれど、本当に怖かったです。逃げていた途中に1年生教室から不審者が出てきたときは、スリッパが走りにくく、「やばいかも」というのが頭をよぎりました。今回の避難訓練を通して、スリッパからシューズに変えることになってよかったなと思いました。今回、生徒は全員無事だったけれど、先生が数人犠牲になっていたかもしれないと聞いて、逃げることを第一に考えながらも、大切な友だちや先生が犠牲にならないように、自分にできる大きな声をだしたり、物を投げたりするなどの行動も頭に置いておきたいです。(2年 三代来々羽さん)

教職員も反省点がたくさんありました。改善を図ります。日常の防犯を見直すよい機会となりました。

新春百人一首かるた大会

1月24日に、生徒会文化図書部主催のかるた大会が、1、2年合同で開催されました。

和気あいあいの中でも集中している様子が見られ、新年にふさわしい清新の気が感じられました。

入賞者・・・すばらしい！

- 【2年生】 弓 琴音さん (32枚)
- 森 志穂莉さん (30枚)
- 渡辺 百香さん (25枚)
- 嘉藤 花さん (22枚)
- 宮成 幸奈さん (20枚)
- 【1年生】 船越 悠真さん (15枚)
- 田上 和篤さん (14枚)
- 佐藤 瑚珀さん (13枚)

